

さくら市議会だより



2012.8.1
(平成24年)

発行 佐倉市議会 編集 広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL484-6279 FAX486-2508
佐倉市ホームページ http://www.city.sakura.lg.jp メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp



新園舎が完成した馬渡保育園

老朽化に伴う改築事業が完了し、7月1日から利用を開始しています。

6月定例会

佐倉市議会は、6月定例会を6月4日から6月25日までの22日間にわたり開催しました。今定例会では、市長から「平成24年度佐倉市一般会計補正予算」、「副市長の選任について」など議案19件が提出され、すべて原案のとおり可決・同意しました。

請願・陳情については、「国における平成25(2013)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書」など5件、議員提出議案については、「原子力発電所の再稼働をさせないことを求める意見書」など8件を提出し、審議しました。

一般質問には、各会派の代表質問に5人、個人質問に13人が登壇し、市政について広範囲にわたる質問を行いました。

一般会計補正予算 副市長の選任など 19議案を可決・同意

5月臨時会

議長に 山口文明議員 副議長に 村田穰史議員を選出

5月臨時会が5月22日に開かれ、市長から「佐倉市土地の埋立て及び土質等の規制に関する条例の一部を改正する条例制定について」など議案5件が提出され、すべて原案のとおり可決・承認しました。

さらに、正・副議長の選挙が行われ、議長に山口文明議員、副議長に村田穰史議員を選出、その他各常任委員、議会運営委員の選任を行いました。(議会の構成については6ページに記載。)

議長選挙の結果	
○山口 文明	16票
五十嵐 智美	7票
森野 正	5票
副議長選挙の結果	
○村田 穰史	16票
萩原 陽子	7票
白 票	5票



村田穰史 副議長

第54代副議長。
平成19年4月初当選以来、連続2期。
(所属会派：みんなの党)



山口文明 議長

第56代議長。
平成15年4月初当選以来、連続3期。
第53代副議長を務める。
(所属会派：さくら会)

平成24年5月臨時会 議案賛否一覧

議決結果欄 可 可決 承 承認 ○ 賛成 議 議長

議案番号	議案名	議決結果	さくら会										公明党				市民ネットワーク		佐倉市民オンスマン		みんなの党			会派に属さない議員						
			為田浩	橋岡協美	井原慶一	石渡康郎	松原章	櫻井道明	山口文明	清宮誠	押尾豊幸	中村孝治	桐生政広	望月清義	久野妙子	小須田稔	柏木恵子	岡村芳樹	森野正	大野博美	伊藤壽子	五十嵐智美	和田恵子	上ノ山博夫	岩井功	村田穰史	高木大輔	萩原陽子	富塚忠雄	川名部実
市長提出議案																														
1	佐倉市土地の埋立て及び土質等の規制に関する条例の一部を改正する条例制定について	可	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	専決処分の承認を求めることについて	承	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	専決処分の承認を求めることについて	承	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	専決処分の承認を求めることについて	承	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	専決処分の承認を求めることについて	承	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

市政に関する

一般質問

一般質問とは、議員が議案に関係なく、市政全般にわたり質問することをいいます。

6月定例会では、6月11日から14日までの4日間にわたり、一般質問を行い、市政に対し活発な議論が展開されたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(8月下旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(8月下旬配信予定)をご覧ください。

一般質問要旨

※は持ち時間1時間、それ以外は30分。()内は会派名。

代表質問

桐生 政広 (さくら会) ※

- 1 市長の政治姿勢について
2 福祉問題について
3 志津公民館について
4 環境問題について
5 産業・観光振興について
6 志津霊園問題について

小須田 稔 (公明党)

- 1 防災・減災について
2 安心・安全なまちづくりについて
3 読書環境について

大野 博美 (市民ネットワーク)

- 1 市長の政治姿勢について
2 災害時に発生するガレキ処理について
3 全国「経営革新調査」で見えてきた佐倉市の課題について

上ノ山 博夫 (佐倉市民オンブズマン)

- 1 市政運営について
2 情報公開について
3 教育問題について

若井 功 (みんなの党)

- 1 行政の広域化と効率化について
2 通学路の安全確保について

個人質問

井原 慶一 (さくら会)

- 1 子ども政策について
2 職員の労働条件について
3 ボランティアについて

橋岡 協美 (さくら会)

- 1 公共施設の有効活用の施策について
2 歳入増の施策について
3 歴史的資産保存の施策について
4 防犯施策について

岡村 芳樹 (公明党)

- 1 下志津小学校の耐震緊急措置に関連した諸問題について
2 防災施策について
3 産業振興及び観光施策について
4 環境問題について

萩原 陽子

- 1 保育園・児童センター・学童保育所の民営化について
2 放射性物質対策について
3 高齢者福祉サービスについて

松原 章 (さくら会)

- 1 佐倉市の未来の人材育成について

高木 大輔

- 1 羽田空港再拡張に伴う航空機騒音問題について
2 近隣市町の発展における産業振興について
3 要支援者対策について

柏木 恵子 (公明党)

- 1 放射能対策について
2 市民サービスの充実について
3 子育て支援策について

久野 妙子 (公明党)

- 1 魅力ある街づくりについて
2 健康増進への取り組みについて
3 国保の賦課徴収について

伊藤 壽子 (市民ネットワーク)

- 1 化学物質過敏症問題について
2 水稲への農薬散布、ヘリコプター防除問題について
3 深刻化する原発事故後の放射能問題について
4 国の補助金事業への取り組みについて

和田 恵子 (佐倉市民オンブズマン)

- 1 佐倉市の教育について
2 指定ごみ袋の問題について
3 市長の政治姿勢について

冨塚 忠雄

- 1 公立保育園の民営化問題について
2 志津公民館の整備について
3 都市計画道路3・4・18号上志津青菅線の交通安全施設等について

爲田 浩 (さくら会)

- 1 小・中学生をとりまく課題について
2 地域コミュニティーの課題について

五十嵐 智美 (市民ネットワーク)

- 1 女性の視点で防災を考える
2 高齢者福祉について
3 公立保育園の民営化問題について

◎上記の内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い大項目のみ掲載しています。

代表質問

さくら会

桐生 政広

さくら会を代表として次の6項目につき市長に質問致しました。

- 一、市長の政治姿勢について
1 副市長の二人制について
2 防災対策について
二、福祉問題について
1 人間ドック・脳ドック助成について
2 子育て支援策について
三、志津公民館改築について
1 改築に伴う諸問題について
四、環境問題について
1 側溝汚泥の収集について
2 東日本大震災におけるガレキ処理受け入れについて
3 資源回収について
4 住宅用太陽光発電設備助成について
5 給食用食材の放射能検査について
五、産業・観光振興について
1 産業振興について
2 観光振興について
3 健康マラソンについて
六、志津霊園問題について
1 確定債権の回収について

代表質問

現在係争中の裁判の状況について

以上の諸問題について質問をいたしました。紙面の都合上、小・中学校の耐震化について要旨を報告いたします。

- 一、小・中学校の耐震化率
1 小・中学校の耐震化率は全国平均80.3%と比較して佐倉市の71.4%はかなり遅れている。もっとスピード感を持って実施すべきである。
2 また、下志津小学校の校舎の一部に早急に補強工事をする必要があることである。
3 学校の耐震化は市の主要事業として取り組んできた。今後とも国の動向を見ながら耐震工事の加速化を進め、学校施設の安全確保に最大限努める。
4 なお、小・中学校の耐震工事は23年度は2校で5棟、今年度は7校で8棟を予定しており年度末には耐震化率79.4%に達する見込みである。
5 下志津小学校については、今年12月までに仮設校舎を完成させ児童等の安全確保に努めるべく準備を進めている。

公明党

小須田 稔

本庁舎等の耐震対策は、この4月の市庁舎の耐震診断結果は厳しいものとなった。建て替えも含めた今後のスケジュールについて伺う。

安全が担保できない建物は緊急措置として使用を禁止し職員を移動、本庁舎などについては今年度中に方向性を示したい。

学校の非構造部材の耐震化は、昨年の震災でも非構造部材といわれる天井、壁などの崩落で死者が出た。学校等の非構造部材の耐震化を早急に進めなければならないのが取り組みは。

市内小・中学校の体育館でも天井の崩落があった。そのため体育館などの天井は来年度には耐震化をおこないたい。

通学路の安全対策について
4月の京都府亀岡市で発生した集団登校の事故後も連続して事故が発生してしまっ。通学路の安全対策は道路管理者、警察などの連携が必要で市だけで解決できるものではない。公明党は国会内に対策チームを立上げ文科相に緊急提言を行う

鎌田副市長退職の経緯と矛盾点
5月1日に鎌田副市長が突然退職を申し出たことだが、市長は慰留に努めたのか。

市民ネットワーク

大野 博美

市長は最初から慰留する気にならなかったのではないかと。3月30日付訓令で、鎌田副市長を企画政策部、産業振興部、土木部、都市部、資産管理経営室の決裁からはずしたが、なぜか。

7月から来る新しい副市長の所掌分野で、年度途中の変更では混乱することから、準備のため4月から市長直屬とした。

副市長の決裁を義務付ける規定を、4月から6月までの期間限定の訓令により変えてまで、鎌田副市長を決裁からはずした。このような前例はあったのか。記憶する限りではない。

新しい副市長が来る前に、今の副市長をはずすというのは通常考えられない。4月から6月まで、副市長はゼロでいいということになる。市長が強調する副市長2人制と矛盾している。

ガレキ処理のマニュアル策定を
仙台市では以前からガレキ処理マニュアルを作っていたが、震災直後も「現場で分別処理場へ運搬」と迅速に処理できた。佐倉市でもマニュアル作成を。事例等を参考に策定したい。

副市長突然の辞任は無責任だ
この辞任は「一身上の都合」として、市長の慰留も叶わなかったと言っている。しかし「一身上の都合」の裏には明らかにできない理由があるもの。市民の間には辞任に関して様々な噂が飛んでいいる。意味不明の辞任は市長、副市長ともに無責任だ。

佐倉市民オンブズマン

上ノ山 博夫

通学路の安全確保について
今年三月に開通した井野小学校前の道路は危険な場所であるが通学路標識がない。いつ標識等の安全対策がされるのか？

みんなの党

若井 功

通学路の安全確保について
今年三月に開通した井野小学校前の道路は危険な場所であるが通学路標識がない。いつ標識等の安全対策がされるのか？

佐倉警察署と協議済みであり、現在警察にて検討中である。

現在、副市長不在でも、支障なく行政を運営できるといふ事は副市長不要のコンパクトな市政運営が可能なのではないかと。副市長2人体制で、今後佐倉市の未来に希望が持てるまちづくりの為に頑張りたい。

出資等団体の情報公開は充分か
社協は一部の会議公開まで可能になったが、市民の税金を投入して出資、補助金交付している団体については文書だけではなく会議の公開もしていくべきだ。

モデル規程では市の指定団体の会議公開までは求めていない。各団体に適した規程の整備が必要であり会議公開の必要性についても各団体の自主性、自立性を尊重していきたい。

児童生徒は学年によって注意力に差があり、登校時と下校時によっても異なる。指導は？
命の大切さを理解させ、日常的に工夫し交通安全指導に取り組んでいる。通学路では保護者やスクールガードボランティアの皆様の協力を得て、登下校を見守る等、学校の実情に合わせ取り組んでいる。

児童生徒がルールを守り注意しているも犠牲になる事故が多い。ドライバーへの注意喚起、また高齢者等への交通安全指導で取り組んでいるものは？
毎月10日前後に交通安全啓発を行うアクション10活動を行っている。今年四月には高齢者向け交通安全教室を実施した。バイクや自転車利用者に交通ルールを守らず危険な運転をする方がある。交通安全指導は？
小・中学校での交通安全教室での指導、高齢者向け交通安全教室の実施、こうほう佐倉やポスター等での交通安全啓発活動を実施している。

個人質問

さくら会 井原慶一

子ども政策について

政府民主党は待機児童対策の切り札として『総合子ども園』を打ち出してきた。幼保一元化はかなり前からの課題であるが佐倉市の考えは？

市内でも事故が発生したが、通学路の安全対策は？

『総合子ども園』は撤回されるという新聞報道があった。幼保一元化については教育委員会と協議していく。また、日常的に交通安全指導を行うとともに通学路点検等を行っている。

職員の労働条件について

佐倉市職員の時間外労働は異常であると指摘してきたが、メンタルヘルス対策や労働環境の改善が必要だ。

引き続き改善に努めたい。

ボランティアについて

行き過ぎたボランティアが問題になっているが？

活動している方と住民自治会の調整を図っていききたい。

さくら会 橋岡協美

受変電設備等の耐震化は。

庁舎耐震化と併せ、情報システム機能や災害対策本部への非常用電源など、設備面の対策も検討が必要。

三世代市内近居の助成は。

他市の例を参考に、生産人口増加策となるか研究していく。

佐倉市の大学誘致について

進出希望の大学があれば社会的、経済的効果と市の財政負担を勘案し真摯に協議を行う。

八社大神町名変更について。

八社大神の旧地番、井野1番地1は地番が抹消され、再度使用は不可。今後、歴史や由緒ある町名の保存に十分配慮する。

不妊治療対策について。

助成は状況を見極め検討する。適切な相談窓口への道案内をすることが、市の役割である。防犯カメラ設置進捗状況は。佐倉警察署と協議し、犯罪

抑止に効果的な場所を選定し県に補助事業計画書を提出した。

公明党 岡村芳樹

本庁舎と下志津小学校の耐震化

市役所本庁舎と下志津小学校第1校舎は、構造耐震の再調査により、耐力度が極めて低く、緊急措置を講ずることになった。奇しくも、それぞれ世界的建築家故黒川紀章氏と札幌ドームを手がけた原広司氏による建築物であり、日本を代表する有名な建築家の設計によるものである。

このことにより、庁舎や学校の建て替えに遅れが生じ、市民生活が脅かされるような事がある。活を守り、あくまでも市民生活を守ることを最優先、重点を置いて対応するべきと強く訴える。今後の対応を伺う。

この2つの建物は著名な建築家の設計によるものであり、建築的な価値について認識しているが、建物の耐震対策を講ずる上で、第一義は、これら建物を利用して市民、学校の生徒、職員の安全を優先に考え、これからの耐震対策を進める。

保育園等の民営化について

民営化による在園児への影響を考慮して経験豊かな保育士の配置を義務付け、移管後の訪問指導を条件として事業者が提示するというが、市が民間経営にどこまで関与できるのか。

これから作成するガイドラインに、民間事業者への義務付け条件として設定して行く。

民営化の目的の一つとして、公立保育園の正規保育士の比率改善は、何割としているか。

数値はまだ決めていないが高めた比率は維持して行く。

臨時職員の雇用についてはどのように対応する考えか。

本人の希望があれば継続して雇用されるよう、事業者に対して条件を提示する。

放射性物質対策について

子ども達の健康を守るため

に食材検査が今後も重要となるが現在の体制で充分なのか。

さくら会 松原章

青少年健全育成基本法

「子ども・若者育成支援推進法」を受けて市の動きは。

独自の青少年育成計画策定。

青少年を有害情報から守るための市の取組みは。

県との役割分担の中、地域で子供達を育て取組みに努める。

中学校の武道・ダンスの必修化

文部科学省が目指すものは。伝統的な行動様式の尊重等。

各校の武道・ダンスの選択状況、指導者の熟練度、事故対策、障害児への対応は。

適宜対応している。

JICAへの職員派遣

過去の市職員派遣状況は。3名の市職員を派遣。今後の市職員派遣の予定は。余裕はないが前向きに検討。

国からの支援及び派遣によるメリット・デメリットは。

人件費が支給される。メリットは人材育成に有効など。デメリットは他職員への負担など。

羽田空港再拡張に伴う航空機騒音問題について

平成25年の年44万7千回の離発着回数の実現に向けて羽田空港拡張工事が進められており、平成22年10月21日から、羽田空港D滑走路供用に伴い羽田空港の離着陸機の飛行ルートが大きく変更になった。夏季に多くなる南風好天時、佐倉市上空の通過機数が増加し市民の生活への影響が懸念される。現在、佐倉市で実態調査をしているか。

現在、県が佐倉市と同一高度、同一ルートの四街道中学校で調査を実施していることから市内では実施していない。県市町村連絡協議会で航空機の高度の引き上げ、飛行ルートの分散や、騒音測定局の設置等を国に要望している。

まずは市民の実態調査を実施し、近隣市と連携をとりながら騒音問題に取組み、市民生活が向上されるよう要望する。

公明党 柏木恵子

放射線対策について

安心して暮らすために、①身近な食材の少量少量での検査の実施と公表②市民に貸し出した空間線量計での測定結果公表③放射線基礎知識などの講演会開催④ホームページに掲載などの対応を望むかがか。

市民の測定した結果の公表は個人情報に注意し進めていく。本年9月に県主催の放射線に関する講習会を予定している。また、国の除染ガイドライン等の放射線情報を発信していく。

子ども医療費助成拡充について

この数年間で多くの市や町の子ども医療費助成の拡充が顕著。近隣自治体でも成田、八街、印西、富里、四街道で入院、通院とも中学3年生までとしているが市の今後の対応を伺う。

本年12月から入院、通院とも中学校3年生まで拡充できるように進めていく。

シニアプロモーションについて

市の魅力向上の為「佐倉ブランド」を構築し市内外へと広めていくシニアプロモーションを行う考えはあるか伺う。

創造性に富んだ魅力ある街が実現できるよう努めていく。

健康増進への取り組みについて

胃がん原因の95%はピロリ菌と判明。早期発見、治療の為、採血検査（ABC検診）を導入してはどうか伺う。

ピロリ菌除去の実験的研究を見定めて検討したい。

国保の賦課徴収について

低所得者の方たちは保険料の負担感が強く滞納者が多い。法律で定められている減免以外の方法はどうか伺う。

負担の公平性の観点から好

ましくないものと考えている。

市民ネットワーク 伊藤壽子

放射線問題について

通学路の放射線量測定は。道路側溝53か所を測定。全体的に低減してきているが引き続き測定を行っていく。

放射線に関する教育について学校、教員の役割をどう考えるか。

放射線問題について

放射線の基礎的性質について理解を深める事と、人によって考え方や見方が違う事や事故に備え自分の体を守る行動を指導する事など考える。

保育園給食の牛乳の詳細な放射線測定が必要と考えるが。原乳モニタリング検査を通じた市販品なので問題ないと考えている。

今年度のブルー清掃について。昨年同様、子ども達にはブルー清掃をさせず、教員、保護者で行う。生き物採取も昨年同様禁止している。文科省の福島県の屋外プールの利用についての通知のとおり対応している。

佐倉市民オンブズマン 和田恵子

ごみ袋が他市に比べ高い。国産限定とする基準の見直しを。他市を見て総合的に判断。

7種類もの指定ごみ袋は使い捨てでリサイクルにも反し環境にも悪い。費用負担が高齢者世帯に重く、家庭内に長期に滞留する。びん・カン等資源物の回収は繰り返し使えるコンテナや不要袋の利用に変えるべきだ。

初期費用や集積所の問題があり、現状維持とする。

退職金と総合事務組合

人事院の調査によれば職域加算を含む国家公務員退職手当は約2950万円で民間に比べ403万円高い。佐倉市職員の職域加算を含めた退職手当は？

昨年度、市職員の定年退職金平均は2758万円。職域加算は年金であり算出してはいない。

富塚忠雄

志津公民館の整備について

整備の基本的な考え方についてお聞きします。

志津公民館、志津出張所及び図書分館、駐輪場、児童センター、地域包括支援センターを複合化し、現在の志津出張所等を合わせた敷地に建設する。

公立保育園の民営化問題について

パブリックコメントではどのような意見が出されたのか。

保育園に関しての主なものは、民営化による保育の質低下への懸念、公的責任の放棄、営利事業者にはそぐわない等により反対する意見が出された。

公立と同内容での運営は。在園児への影響を少なくするために、移管条件をつける。

公立保育園民営化問題について

条件に合致しなかった場合は、公立に戻すこともあるのか。

そのときの状況を見て対応する。まず1園を選定し、その検証をする中で考えていくべき。

学校における指導のあり方は？

新学習指導要領の実施に伴い、児童生徒、先生方が混乱しているような事はないのか？

新たに加わった内容が年間指導計画に適切に位置づけられ、教育課程が編成されている。指導主事が学校へ訪問した際、適切に指導が行われているかの確認もしており、現場での混乱はないものと考えている。

偏差値を含め、進路指導はどのように行われているのか？

現在、偏差値に依存した進路指導は行わず、将来の生き方に反映できるように、3年間を見通した進路指導を、1学年時より、計画的に行っている。

地域の集会所にAEDを！

地域活動拠点となる集会所にAEDの設置を検討してはどうか？

AEDの設置については一定の条件を満たす必要がある。今後、調査検討していく。

市民ネットワーク 五十嵐智美

女性の視点で防災を考える

避難所運営マニュアルの見直しとして運営委員会への女性委員の登用、女性・子どもへの暴力防止の具体的な方法の明記などが必要。対応を伺う。

女性や子どもへの配慮として夜間照明の設置等を記載している。今後運営組織への女性の参画を含めマニュアルを見直す。

介護者への支援の充実

介護者が情報交換や交流ができる場として介護者の会の設立を提案するが、いかがか。

介護者のついでにネットワーク化が徐々に図られているので、地域包括支援センターとともに研究していく。

民営化方針の見直しを求めるパブリックコメントや3459名の署名と共に陳情も出されている。市民説明会を行うべき。

現在のところ説明会を開催する予定はない。

用語解説

【中学校の武道・ダンスの必修化】

学習指導要領の改訂に伴い、今年度から中学1、2年の体育で「武道」と「ダンス」が必修となった。武道は、柔道、剣道、相撲などから、ダンスは、創作ダンス、フォークダンス、リズムダンスなどから学校ごとを選択することができる。

主な議案の概要

6月定例会では、市長及び議員からの提出議案など32件の議案について審議しました。

主な議案の内容は、議案第1号は平成24年度における一般会計の補正予算に係る議案、議案第2号から議案第10号までは条例の制定に係る議案です。また、議案第11号及び議案第12号は、佐倉市道路線の認定に係る議案です。

【議案第一号 平成二十四年度佐倉市一般会計補正予算】
歳入歳出それぞれ2億5891万円を増額補正しようとするものです。

歳入の主なものは、県支出金、繰入金などの増額です。
歳出の主なものは、本庁舎保全事業、民間保育園施設整備助成事業、小学校改築・改造事業、志津公民館整備事業などの事業費の増額です。

【議案第二号 佐倉市東日本大震災復興基金条例制定について】
「佐倉市東日本大震災復興基金」を設置し、千葉県から交付される「がんばろう千葉！市町村復興基金交付金」を積み立て、当市の防災力強化など復興事業に活用しようとするものです。

【議案第四号 佐倉市印鑑条例等の一部を改正する条例制定について】
日本に在留する外国人に関する在留管理制度の見直しにより、外国人登録制度が廃止され、平成24年7月9日から外国人に対しても住民基本台帳制度が適用されることに伴い、佐倉市印鑑条例、佐倉市手数料条例など関連条例6件について、一括して改正しようとするものです。

【議案第八号 佐倉市立学童保育所設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例制定について】
王子台小学校の余裕教室を活用して、本年10月から王子台学童保育所を設置しようとするものです。

【議案第十五号 副市長の選任について】
浦田啓充（うらたひろみつ）氏を副市長に選任するため、議会の同意を求めるものです。

平成24年6月定例会 議案賛否一覧

議決結果欄 可 可決 否 否決 同 同意 採 採択 不 不採択
○ 賛成 × 反対 一 採決不参加 議 議長

Table with columns for 議案番号, 議案名, 議決結果, and various council members (さくら会, 公明党, 市民ネットワーク, etc.). Rows include items like '平成24年度佐倉市一般会計補正予算' and '国における平成25(2013)年度教育予算拡充に関する意見書'.

会派等の意見

さくら市

議案第1号(平成24年度佐倉市一般会計補正予算)に賛成

東日本大震災と福島第一原子力発電所の重大事故から1年あまりが経過したが、その後も集中豪雨や大型台風の上陸などの自然災害が日本を襲っている。日本は「戦後最大の危機」といふべき状況にあるが、東日本大震災発生時には、互いに助け合い、譲り合った日本人の気高い精神を世界が称賛した。

苦難の道のりは今後も続くが、大震災からの復旧・復興を成し遂げ、再び力強く、明るい日本の復活を果たすものと確信する。佐倉市においては、平成23年度に実施した耐震診断において、市庁舎や学校施設の一部に構造耐震指標の著しく低い箇所があることが判明したことから、市庁舎の耐震・緊急安全対策に伴う移転費用や下志津小学校における仮設教室の賃貸借費用などの児童安全対策費が計上された。市民及び職員の安全を確保するため、執行部におけるこのような迅速な対応は、評価するものである。

その他、個人における住宅用太陽光発電設備導入費の助成や住宅の耐震診断、耐震補強工事費の助成に伴う経費も計上されており、市民の側からの再生可能エネルギーへの転換促進や防災対策の促進が図られるものと期待するところである。

また、民間保育園施設整備費の助成やユニバーサル農業推進モデル事業、療育支援コーディネートーター配置モデル事業といった福祉関連経費も計上され、より一層の子育て・福祉環境の向上に寄与するものと期待するところである。

今回、志津公民館の基本設計及び実施設計業務委託費が計上された。施設基本方針では、公民館のほか、志津出張所や志津児童センター等を含めた複合施設とする方向性が示されている

が、施設の改築に当たっては、市民の意見を十分に踏まえ、利用しやすい施設となるよう希望するものである。

議案第15号副市長の選任について同意

佐倉市においては、鎌田前副市長の退任により、現在、副市長のいない状況である。

市政の停滞を招かないためにも、早急にこの状況を改善する必要がある。

今回、提案された浦田啓充氏は、国の内閣官房地域活性化総合事務局及び内閣府地域活性化推進室・地域自主戦略交付金業務室に勤務されており、過去には海外や他の地方自治体での勤務経験も豊富であることから、広い視野を持って、佐倉市が抱える課題の克服に向けてご尽力いただけるものと大いに期待するところである。

公明党

議案第1号平成24年度一般会計補正予算について賛成

施設等の耐震、防災整備事業、志津公民館の整備設計費など必要な予算であり賛成。

議案第4号・5号・11号・12号14号について賛成

第4号は外国人登録制度が廃止されることに伴い、関係する6件の条例の一部を改正するもので、正規な手続きで中期にわたり在留する外国人の利便性が向上されるようになる。

第5号はこれまで災害時に女性の視点での支援が不備であった教訓を生かして女性の視点から災害対策が行えるようになる。第11号、第12号は道路の認定で法令に従って進めるべきであるが第12号はベトナムの交差点であることから十分な安全対策が望まれる。今後、道路認定を行うにあたっては移管までに安全対策を完了させるか対策をした上で認定をかけること。

第14号は志津霊園墓地移転対策協力会の前会長である川野富

久に対する債権の時効中断を目的とする訴えの提起ですが、この問題が起きてから時間と共に多額の費用が支出されている。今後の支出にあたってはその効果を十分検証した上でおこなうようにすること。

陳情第14号子育て支援の充実を求める陳情について反対

陳情では民営化で保育の質が担保されないとの懸念があるが、これは言い換えれば民間軽視であり経営者に対し失礼な話であり反対。

市民ネットワーク

①議案4号②議案6号③議案15号、16号に反対する主な理由

①在留外国人に対し住民基本台帳制度の適用に伴う条例改正。中長期の在留者に在留カードを発行し、不携帯は罰則、90日以内に住所変更届けのない場合等は在留資格の取り消しになる。特に非正規滞在の外国人は一切の行政サービスから締め出される可能性がある。

②元となる国民保護法に反対。③昨年11月、副市長二人制の条例改正時、市長の仕事が忙しすぎる事を理由に掲げていたが、現在市長自ら副市長ゼロ体制を作り出している。本当に二人必要なのか疑問が生じる。

①陳情14号②陳情15号に賛成

①財源を理由に公立保育園等を民営化せず、子育て支援策をさらに充実すべきである。②毎年年金の減額が予定されており、安心して暮らせる老後を守らなければならない。

佐倉市民オンブズマン

議案第15号「副市長の選任」に反対。佐倉市の財政規模、厳しい財政事情にとつて副市長2人は市民の負担を増やす。しかも国交省の役人を迎えるのは地域主権、住民自治のこの時代に逆行したもので市民の願いや声がどれだけ吸い上げられるのか疑問。この様に市民の暮らしの安

定、安心よりも開発優先になる懸念が拭えず反対する。

陳情第14号「子育て支援の充実を求める陳情」には賛成。子育て支援は自治体が担う大きな役割。公立・民間保育園共に競い合って保育の質を高める事が重要で、財政難の為の公立保育園民営化は安易にすべきではない。

みんなの党

原発関連議案について
原発再稼働について、われわれみんなの党は、もちろん慎重な対応を求めています。しかしながら、発議案にあるような、完璧な再稼働反対ではなく、安全が確認され、さらに、一定地域における住民投票を実施した結果が再稼働が必要との結果であれば、再稼働の可能性を否定していません。したがって、原発関連議案の内容とは微妙な相違があるため反対しました。又、電気料金値上げにはもちろん反対ですが、発議案とは責任の所在に関する認識が違う為、反対しました。

富塚忠雄 議員

陳情第14号「子育て支援の充実を求める陳情」に賛成する

公立保育園等の民営化は、保護者・園児・職員等多くの方々の不安を駆り立てています。パブコメでは、質の低下、公的責任の放棄等が出されています。財源を理由に民営化を進めるのではなく、誰もが安心して子どもを生み育てられる子育て支援施策を拡充し「子育てしやすいまちづくり」が問われている。

会派に属さない議員

高木大輔 議員

議案第15号副市長の選任について。佐倉市の産業振興、都市基盤の整備を推進させるために国から副市長を招聘した。今後、地方分権により権限が国から地方へ移管され、佐倉市として国、県との連携を一層強化し持続可能な市政運営を構築しなければならぬ。副市長には、地方行政の経験を活かし様々な分野において佐倉の発展に貢献して頂く事を期待し賛成した。



議会の

は？て？な？ ~ 除斥とは ~

『除斥』とは、議会における審議の公正を期するため、議案と一定の利害関係を有する議員が、当該議案の審議に加わることができないという制度です。今定例会においても、議員の一人を人権擁護委員候補者として推薦しようとする議案(諮問第1号)が上程され、当該議案が議題となった時点で、該当する議員は議場から退場し、採決に不参加となりました。

佐倉市議会のホームページも
ご覧ください

佐倉市のホームページ
<http://www.city.sakura.lg.jp>

→佐倉市議会

をクリック

インターネットで
会議録が検索できます!

会議録検索

をクリック

平成元年以降の市議会の本会議
会議録の内容が検索できます。

議会改革推進委員会・広報公聴委員会

議会改革推進委員会

議会改革を継続的に進めるため、佐倉市議会基本条例第27条に基づき、設置しています。



山口文明 中村孝治 森野正 小須田稔 岩井功
橋岡協美 清宮誠(委員長) 上ノ山博夫(副委員長) 五十嵐智美

広報公聴委員会

広報公聴機能の充実を図るため、佐倉市議会基本条例第8条第1項に基づき、設置しています。



和田恵子 高木大輔 村田稷史 石渡康郎 松原章 爲田浩
久野妙子 桐生政広(委員長) 柏木恵子(副委員長) 伊藤壽子

委員会報告

※議案は市長提出議案

総務常任委員会

《審査結果》

議案1	議案2	議案3	議案4	議案5	議案6
可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案13	陳情13	陳情15			
可決	不採択	不採択			

開催日：平成24年6月18日 / 場所：第四委員会室

議案7件及び陳情2件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。
 佐倉市東日本大震災復興基金については、平成33年度までの10年間にわたり東日本大震災からの復興に取り組むために実施する事業に充当することができることとされているが、充当する事業の選定にあたっては、十分検討したうえで決定していただきたい。
 庁舎の耐震化を実施するにあたっては、庁舎が特殊な構造であり工事等が困難であることに加え、スピーディーな対応が求められていることから、対応が難しいことは十分認識しているところであるが、今後の実施にあたっては、庁舎の持続性、市民の利便性に加え費用面などを総合的に検討しながら、庁舎の耐震化を実施していただきたい。
 消防ポンプ自動車の購入については、佐倉市独自の仕様によるものであるとのことだが、今後同様の車両を購入する際は、消火活動に十分効果が発揮できることは当然であるが、費用対効果についても考慮していただきたい。

文教福祉常任委員会

《審査結果》

議案1	議案7	議案8	請願6	請願7	陳情14
可決	可決	可決	採択	採択	不採択

開催日：平成24年6月19日 / 場所：第三委員会室

議案3件、請願2件及び陳情1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、議案第1号「平成24年度佐倉市一般会計補正予算」については、下志津小学校の耐震対策を進めるための予算が計上されておりますが、佐倉市の子どもの命を守る観点から、市内全小・中学校の耐震診断を速やかに実施し、必要な耐震対策の早期完了に努められたい。また、志津公民館整備事業については、多様な意見を反映できるよう進めていただきたい。
 陳情第14号「子育て支援の充実を求める陳情」については、当該陳情が求める「子育て支援の充実」を否定するものではありませんが、同陳情が、より具体的に求めている「公立保育園の民営化」を位置付けた「佐倉市保育園等の在り方に関する基本方針(案)」の見直しに関し、意見が分かれまして。陳情に賛成する立場からは、保育は公立が主体的に行うべきものであり、拙速な民営化に反対する旨の意見が出された一方、反対の立場からは、民営化に伴う保育の質を担保するための取り組み方針が基本方針(案)でも示されており、当該案に基づき、着実に子育て支援施策を進めてもらいたい旨の意見が出されました。

経済環境常任委員会

《審査結果》

議案1	議案9
可決	可決

開催日：平成24年6月20日 / 場所：第二委員会室

議案2件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。
 太陽光発電設備の補助事業については、事業の実施に当たり、市民の皆さんに制度の周知を図り、今回の予算額分を有効に活用していただけるよう努めていただきたい。

建設常任委員会

《審査結果》

議案1	議案10	議案11	議案12	議案14
可決	可決	可決	可決	可決

開催日：平成24年6月21日 / 場所：第一委員会室

議案5件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。
 1. 市道認定の際には、対象道路に十分な安全対策が実施されたうえで、市の管理下へ移管されるよう努められたい。
 2. 志津霊園問題に伴う訴えの提起については、市の有する債権の時効を中断させる目的で行われるものであることから、今後も志津霊園墓地移転対策協力会の前会長及び同会の前副会長に対する債権の回収に向け、継続的に取り組まれたい。
 3. 既存建築物耐震改修等支援事業等の住宅施策を行うにあたっては、防災や減災、経済活性化といった総合的視点から全庁横断的に取り組むよう努められたい。

議会の構成

議長 山口 文明
副議長 村田 穰史

平成24年6月4日現在

●会派・各常任委員会等

委員会 会派	総務常任委員会	文教福祉常任委員会	経済環境常任委員会	建設常任委員会	議会運営委員会	議会改革推進委員会	広報公聴委員会
さくら会	○橋岡協美 松原 章 ○清宮 誠	為田 浩 櫻井道明 ○※中村孝治	○石渡康郎 山口文明 ○押尾豊幸	井原慶一 ○桐生政広 望月清義	橋岡協美 松原 章 ○中村孝治 ○望月清義	橋岡協美 山口文明 ○清宮 誠 ○中村孝治	為田 浩 石渡康郎 松原 章 ○桐生政広
公明党	小須田稔	○岡村芳樹	柏木恵子	久野妙子 ※森野 正	○小須田稔 岡村芳樹	小須田稔 ※森野 正	久野妙子 ○柏木恵子
市民ネットワーク	伊藤壽子	※五十嵐智美	大野博美		伊藤壽子	※五十嵐智美	伊藤壽子
佐倉市民オンブズマン		和田恵子		○※上ノ山博夫	和田恵子	○※上ノ山博夫	和田恵子
みんなの党	村田穰史		※岩井 功		※岩井 功	※岩井 功	村田穰史
会派に属さない議員	高木大輔	富塚忠雄	川名部実	萩原陽子			高木大輔

議席番号順、※会派代表者、○委員長、○副委員長、◇オブザーバー

●組合議会・委員会等

印旛衛生施設管理組合	岡村芳樹、桐生政広
印旛利根川水防事務組合	押尾豊幸
佐倉市、酒々井町清掃組合	村田穰史、柏木恵子、望月清義
佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合	伊藤壽子、川名部実
佐倉市八街市酒々井町消防組合	小須田稔、富塚忠雄、中村孝治
千葉県後期高齢者医療広域連合	桐生政広
印旛郡市広域市町村圏事務組合	山口文明
佐倉市監査委員	櫻井道明
佐倉市農業委員	清宮 誠、押尾豊幸

各常任委員会の構成が変わりました

●総務常任委員会●



村田穰史 小須田稔 松原 章
高木大輔 清宮 誠 橋岡協美 伊藤壽子
(委員長) (副委員長)

●文教福祉常任委員会●



櫻井道明 富塚忠雄 為田 浩
和田恵子 中村孝治 岡村芳樹 五十嵐智美
(委員長) (副委員長)

●経済環境常任委員会●



川名部実 山口文明 岩井 功
大野博美 押尾豊幸 石渡康郎 柏木恵子
(委員長) (副委員長)

●建設常任委員会●



望月清義 久野妙子 井原慶一
森野 正 桐生政広 上ノ山博夫 萩原陽子
(委員長) (副委員長)

8月定例会の予定

議会を傍聴してみませんか

- ◆議会運営委員会 8月21日(火) ◆初 日 8月27日(月) 午後1時から
- ◆一般質問 9月3日(月)～6日(木) ◆常任委員会 9月10日(月)～13日(木)
- ◆決算審査特別委員会 9月18日(火)～21日(金)
- ◆最 終 日 9月24日(月) 午後1時から

☆日程は変更になることもありますので、詳細につきましては事務局までお問い合わせください 議会事務局 ☎484-6279

ケーブルネット296では、本会議(初日、一般質問、最終日)の様態を本会議が開催された翌日午後5時30分から放送します。

【地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル】

議会百景

5月臨時会での議長選挙で、議長に選出されました。身に余る光栄に存じます。また、責務の重大さを感じます。公平で円滑な議会運営と、佐倉市の更なる発展に努力したいと思っております。
 安心安全なまちづくり、市民ニーズにお応えする市政の運営、持続可能な行財政の推進など、一丸となって、ひとつひとつ課題に取り組んでいきます。

(議長 山口文明)

副議長としての初議会が閉会しました。一般質問における質問者および執行部の議論に飛躍的な改善がみられた議会となりました。又、佐倉市の発展を願う議員全員が、お互いの主張を明確にしながらも、合意できる点を見つけ、確実に形にしていくことを心がけての議会運営に、十分にご理解をいただけたと感謝しています。

(副議長 村田穰史)